

活動状況のお知らせ

8月 活動報告			9月 活動報告		
2	金	定例会(あかりデイ)	3	火	常中支援学級体験
3	土	こども園夏祭り	4	水	感謝祭り実行委員会③
4	日	むらさき野苑夏まつり	5	木	障害作業部会・ケアマネ認定調査研修
5	月	企画会議・きらり会議	6	金	サポちたフードバンク説明会
		むらさき野苑夏まつり			定例会(あかりデイ)
6	火	放課後児童クラブ話し合い	7	土	傾聴/東北研修 ~8日
8	木	感謝まつり実行委員会①	9	月	食事定例会(あかりデイ)・定例会(きらりデイ)
		介護保険事業者講習会(県)			社協評議委員会
10	土	新しい公共フォーラム事例発表(愛知大学)	11	水	企画会議
11	日	夏休み子供教室	12	木	まつり/バザー部会・ゲーム部会・担当者会議(訪問)
13	火	民生委員推薦会・樽水地区盆踊り	19	木	定例会(傾聴)
18	日	おいで屋会議/大掃除	20	金	運営委員会
20	火	感謝まつり実行委員会②・サービ斯拉ーニング	23	月	感謝祭り実行委員会
21	水	波の音こども園との会議・サービ斯拉ーニング	25	水	理事会
22	木	担当者会議(訪問)	26	木	市民協働会議・第1回フードバンク
23	金	運営委員会	30	月	きらり会議・サポちた理事会・
26	月	きらり会議			おいでや世話人会
28	水	サービ斯拉ーニング/水鉄砲をつくろう			
29	木	サービ斯拉ーニング			

発行
常滑市塩田町2-135
特定非営利活動法人
あかり
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari-npo.jp

2013年10月
71号



第5回あかり感謝まつり 終わりました



波の音こども園のホールの舞台をお借りして和太鼓の“とこなめ窯つ鼓座”キッズダンスの“たんぽぽくらぶ”大正琴はお馴染み“あやめ会”障がいを持つ人たちが楽しんで織ったさをり織りのファッションショー、おいで屋倶楽部の民謡の発表がありました。駐車場では手作りのゲームや、団子やフランクフルト、きらりの手作りパンやお菓子などバザーも盛りだくさん。中庭では太極拳クラブが飛び入り大歓迎のパフォーマンスと、どこもかしこも大賑わい。部屋の中ではさをり織りの体験教室もあり、天気予報では傘マークのところ、お天気も味方してくれる感謝まつりとなりました。



きらりで行った11月3日の感謝まつりには400人ほどの参加者がありました。それぞれの方が思い思いに楽しんでくださったことと本当にうれしく思っています。感謝まつりの実行委員長をやらせてもらうことになり、よし頑張ろうという気持ちと僕でできるのかなという思いで初めは期待と不安がありました。実際準備をやり始めるといろんな問題が出てきてすごく辛い時もありましたが、周りの方たちに助けていただき何とかやりぬくことができました。まつりも小さなお子さんからお年寄りの方までたくさんの方が来てくださり何事もなく無事終わることができて本当に良かったです。改めて、あかりみんなのチームワークはすごいと思いました。今回を振り返るといろいろなことがありました。自分自身の内面的なことから実行委員全体のこと、いろんな課題がある中でどのようにしてやっていったらいいのか悩み、まとめていくことの難しさを知り、本当に大変でした。でも、この経験が次に繋げていけると思っています。いい経験をさせてもらいました。普段はデイに来ていただいている方たちがご家族と一緒に遊びに来て、楽しんでくださっている様子も見ることができました。みなさま、本当にありがとうございました。

第5回 あかり感謝まつり実行委員長 家田 圭悟

		8月	9月	
たすけあい	在宅・子育て	活動時間	171	147
		利用者数	28	27
	移動	活動時間	159	170
		利用者数	40	41
	弁当	利用者数	201	205
介護保険	訪問介護	利用時間	700	655
		利用者数	93	93
	居宅介護支援	利用者数	71	75
	あかり	利用者延数	229	224
	きらり	利用者延数	153	150
障害福祉等サービス		利用時間	195	208
		利用者数	26	26
地域交流	おいで屋	参加人数	277	317
	きらり	参加人数	506	522
	傾聴ボラ	利用者数	27	38



会員数(10月31日現在)	
正会員	106名
賛助会員	118名+4団体
利用会員	100名
合計	324名+4団体

賛助会員(10月31日現在)
加古事務所(団体)
ありがとうございます。
みなさまの温かいご支援があかりを支えます。
これからもよろしくお願ひいたします。

ご寄附に感謝いたします

3名の方からいろいろな物をいただきました。大切に使用させていただきます、ありがとうございました。



よい聴き手を目指して

傾聴ボランティア《アマリリス》研修旅行にて

9月7・8日、〈傾聴ボランティアもりおか〉の方々の活動を知りたいと、会長の藤原一高氏のご協力のもと、「東日本大震災被災地を訪ねて」の研修旅行を行いました。

はじめは研修より、この目で東北の被災地を見てみたいという不謹慎な動機でした。朝ドラ「あまちゃん」が一日の元気の源であった私は「東北に仕事(?)で行ける」と嬉しさ半分。

常滑を5時30分に出発。名古屋空港から花巻に。小雨の中、貸切バスで奇跡の一本松のある陸前高田市を目指しました。民話の故郷の遠野を車窓から眺め、ガイドさんの説明を聞きながら、休憩のたびに買物をする観光旅行で始まりました。

しかし陸前高田の道の駅「高田松原」に着いた時、お遊び気分は一掃。瓦礫の詰まった道の駅の建物。その中の泥まみれの一本の松の木。現地ガイドさんによれば、津波は16メートルの高さ、建物の2階を超えたそうです。

真下に立って見上げた高さに圧倒されました。



会の成り立ちを説明する〈もりおか〉の藤原会長

高田松原の名前のままに道の駅の前方には7万本の松原があったとか。一本だけ残った奇跡の松も塩害で枯れ、レプリカになった松をバスの中から見ました。バスで巡る高田の街は一面の草っ原。ここに家があり、人々が暮らしていた痕跡はコンクリートの土台だけでした。瓦礫は撤去され、あちこちに山積みになった土、重機が動き、復興支援のボランティアさんの姿も見えました。ぽつんと残った無人のビルに言葉がありませんでした。

現地ガイドさんは津波の様子を淡々と語っていましたが、現在の境地になるまでの心の葛藤を察すると、興味本位で来たことに少し後ろめたい思いで

した。その後、〈傾聴ボランティアもりおか〉の藤原さんと近谷さんが待っていてくださる山手の公民館で、会の成り立ちと被災地ボランティア活動の現実をパワーポイントと資料をもとにお話いただきました。傾聴に参加してみえるメンバー自身も地震の被災者であるのに、地震の2日後の3月13日には盛岡市災害ボランティアセンターに登録し、傾聴活動の要請待ちの体制を整えられた熱意は驚嘆でした。

しかし、行政の傾聴に対する理解度は低く「専門家ではないから」と要請依頼はなかったそうです。その後4月25日に自衛隊からの活動要請で役員4名により大槌町の避難所で活動が始まりました。それからは釜石、陸前高田と活動の場が増え、6月以降は〈もりおか〉単独で傾聴活動を拡大していったそうです。

盛岡から傾聴の場所までは車で2時間。やっと着いた所では「何も話すことはない」と断られ、それでも「傾聴は必要」と続ける意欲は凄いと感心しきりです。私ならヤメタ!と投げ出していたでしょう。そのうちに、ひとり、またひとり話を聞いてほしい方が声をかけてくれるようになったそうです。「被災者の心に寄り添ってひたすら聴く」まさに傾聴の真髄です。

大切な傾聴のスキルは「繰り返し」と「沈黙」と言われました。極限の体験をして生き延びた方に、安易な同意や励ましは禁句だそうです。被災地の現状を見たあとだったから、本当に理解できました。

傾聴のスキルアップにつながると、熱心に聞く参加者



傾聴のスキルアップにつながると、熱心に聞く参加者



藤原会長に寄贈するあかり代表とアマリリスの会長

あかりで集めた募金と、大きなお菓子箱いっぱいひまわりの種をお渡ししました。後日、この種は盛岡市の「緑と自然をはぐくむ会」さんから大槌町の「桜木の道プロジェクト」の方の手へ渡ったと、後にあかりへお礼状が届きました。

移動中、バスの中で気仙沼の津波をDVDで見ました。編集なしの映像は衝撃でした。「あっ、家(我が家)が流される!!」撮影者の肉声です。バスガイドさんがここから撮影したと現地を教えてくださいました。津波で運ばれた船も見ました。テレビでは何度も放映され見ていた風景が現実の重みを伴い迫ってきました。



雑草の中、市道だけが目立つ陸前高田市街地跡

国民休暇村〈気仙沼大島〉で一泊。

翌朝は、ザン降りの雨。川下りの予定を松島湾巡りに変更して、中尊寺、毛越寺など観光しました。みんなの心がけが良かったのか、観光中、傘は不要でした。

島は5年前に訪れた時と同じだったことにほっとしました。松島湾内の沢山の島が防波堤になり津波の威力を弱めたとか。

今回、被災地を見て復興が進んでいないことを実感しました。笑顔で迎えてくれた皆さんの心の中にどれほどの哀しみ、喪失感があるのでしょうか。

本当に何の力にもなれないと実感した旅でしたが、バスの中では、ガイドさんも運転手さんも震災の話をされました。話さずにはいられない気持ちを、受け取るのが傾聴だとしたら、私達は車中で傾聴をしたのかもしれない。〈もりおか〉の藤原さんが「2年半経った今からが傾聴が必要になる時」と言われました。話して(放して)楽になるなら私達は良い聴き手となるべく研修を積まなくちゃと感じた旅でした。

「来て、見て、買ってください。被災地を忘れないでください。」バスガイドさんの言葉です。みんな、おみやげをいっぱい買って帰りました。

傾聴ボランティア 松下 澄子

11月、12月、1月 催し物ご案内

☆ **おいで屋** 《土・日・祝日は定休日/10:00~15:00までオープン》

展示 (最終日/14時まで)

書6人展《岩島 禮子・柳原 智泉・村田 美晴・森下 佐知子・山口 江柳・山本 千晴》

10月28日(月)~11月22日(金)

ボン吉成 片麻痺からのチャレンジ/色えんぴつ画展 11月25日(月)~12月20日(金)

催し

うたの広場/ ぼすてるはーと

12月12日(木) 10:00~11:30

参加費 200円 (お抹茶と手作り和菓子付き)

☆ **きらりティールーム** 《水・土・日・祝日休み/9:30~16:00までオープン》

展示 (最終日/14時まで)

~ 彩り ~ あじわい青松会/絵画展

11月5日(火)~29日(金)

みんなで あったか クリスマス!/さをい織り ほか

12月2日(月)~26日

催し

第2回 ケアラ(無償介護者)の集い

12月13日(金) 14:00~15:30

参加費 300円

Duo Rose (デュオ ローズ) コンサートと、ケーキとお茶付き